

連帯で守る地域防災「消防出初式」

1月11日(日) 大洗港第4埠頭イベントバースにおいて、新春恒例の消防出初式が行われました。町内各地域の消防団員・女性防火クラブ・日本原子力開発機構自衛消防隊などの関係団体が参加し、消防功労者の表彰及び機械器具点検、分列行進などが行われ、寒風の中きびきびとした動きを見せていました。

また、防災活動に貢献された方々が表彰されましたのでご紹介いたします。



【平成20年度大洗町消防団員表彰】

茨城県知事表彰 永年勤続功労章(40年以上)田山東湖、関根正治、(30年以上)井上定文、(20年以上)兼川浩、溝口和司、松山和彦、梶尾茂幸、小松崎幸男、井上和也、鬼澤浩三

自治体消防制度60周年記念特別表彰 優秀団員表彰 高崎公男

茨城県消防協会会長表彰 優良分団表彰 大洗町消防団第7分団 永年勤続功労章(30年以上)井上定文、功労章 関根弘明、倉田健、小松崎幸男、浅野剛、田山安志、小野瀬恵宏、永年勤続消防団員に対する妻女感謝状 井上久美子

茨城県消防協会県央支部長表彰 優良団員表彰 檜山英洋、佐間田好憲、片桐政基、小沼洋治、加部東正史、米川敏一、石崎光一、木村忠正

町長表彰 永年勤続功労章(35年以上)松澤秀男、広木幸雄、永年勤続(25年以上)根本桂三、伊藤修一、妻女感謝状 井上久美子

団長表彰 永年勤続(15年以上)大川祐司、白土浩志、川又大輔、関根利昭、優良団員(5年以上)関根将雄、大里明、高野晋佑、菊池侑希、関正行、佐藤真一、山口尚嗣、落合正実、松本総一、松山一宏、深作秀和、大貫武男、佐藤志宣

退職者感謝状 猿田昌平、山岸孝彦、菊池章、田口正直、米川暢彦、菅原不二男、山口和泉



おめでとう!平成21年成人式

1月11日(日) 大洗文化センターで平成21年大洗町成人式が挙行され、華やかな振袖や新調したスーツ、はかま姿に身を包んだ新成人234人が、大人の仲間入りを果たしました。

小谷町長から「本日の成人式を契機に、自らの地域の伝統や文化、恵まれた自然環境などを見つめなおし、ひとりの大人として大きく飛躍し、ご活躍されますことを期待します」と激励の言葉があり、新成人を代表して海老原まりなさんが「感謝の心を忘れず、お互い助け合って生きてゆけたらと思っております。夢の蕾は開いたばかりです。これからその蕾を色鮮やかに咲かせてゆきます。」と謝辞を述べました。会場には成人者のご家族の皆さんもご来場され、落ち着いた雰囲気の中なごやかな式典となりました。

防犯に役立てて 町に防犯灯10基を寄贈

1月15日、東京電力(株)水戸支社の^{ところ}所支社長から、小谷町長に防犯灯10基寄贈の目録が手渡されました。これに対し小谷町長から、「他市町村から大洗町は各所に防犯灯が設置されており大変明るい地域と評価をいただいております。今後も、地域に格差の生じないよう犯罪の未然防止のためにも暗い地域には適宜設置してまいります。」と謝辞がありました。





磯浜小学校の木ノ内先生 「原子力・エネルギー教育についての取組」 で優秀賞

昨年10月31日、文部科学省主催の「原子力・エネルギー教育についての取組」で、全国から寄せられた、総数72点の応募の中、磯浜小学校の木ノ内先生の事例内容が、実践事例部門において優秀賞に選ばれました。

「磯浜小学校の原子力教育」と題して、町で進めている大洗町原子力教育推進研究委員会より、年間計画と大洗わくわく科学実験教室（ペットボトルロケット）、避難訓練の2つの事例を紹介しました。

平成20年度茨城県水産製品品評会で入賞

昨年11月28日、県民文化センターにおいて、水産製品品評会が開催され、県内より優秀な製品414点が出品された中、当町より次のとおり6製品が入賞しました。

【沿海部門】

水産庁長官賞	天日干しさんま丸干し	(有)曾七商店
茨城県農林水産部長賞	真イカ照焼	(株)梶尾商店
茨城県加工連会長賞	真いわし丸干し	(株)谷藤水産
茨城県農林水産振興協議会長賞	大吟醸さんま姿干し	(株)飯岡屋水産
茨城県水産物開発普及協会会長賞	酒干赤魚開き	(有)魚秀商店

【テーマ部門】(土産品)

茨城県知事賞	緑茶干し干物セット
	(株)飯岡屋水産



水難救助で表彰

昨年5月5日、漁港間口突破岩壁からの転落者を救助したとして、漁船第三宏丸船長の飛田正美さんと関根政春さん及び大洗支部救難所所属の救助員飛田宏光さんが、日本水難救済会及び茨城海上保安部より表彰されました。

救助員の飛田宏光さんが、岩壁壁面に幼女を抱きかかえてつかまっている親子を発見し、自ら海へ飛び込んで、船長の飛田正美さん及び関根政春さんと協力し船上へ引き上げ無事救出しました。



わが家のアイドル



おおかわ みなみ
大川 美波ちゃん
(東光台1区の1 H16.11.23生まれ)
お父さん 忠義 お母さん 博世
「いつも笑顔でノリノリです」



あしかが ひう
足利 楓ちゃん
(桜道8区 H19.10.31生まれ)
お父さん 玄太 お母さん 朋子
「パパ似の小さな天使です。生まれてきてくれてありがと。」

「私が惚れこむ大洗」

大洗が好きで、大洗に定住した方に大洗のどこが好きになったのかお伺いするコーナーです。

「人の温かさに魅力」

大洗町に移り住んで9年目を迎える、大貫町にお住まいの久米さんご家族を紹介します。ご主人は那珂市、奥さんは内原出身で、3人のお子さんと5人家族で大洗ライフスタイルを満喫中です。

Q：大洗に移住されたきっかけは何ですか？

A：サーフィンが好きで、仕事の忙しい合間に少しでもサーフィンが出来るように海に近い環境を求めて来ました。また、子どもたちを海の近くで育てたいという思いがありました。

Q：大洗のどこに魅力を感じましたか？

A：大洗の自然環境はもちろんですが、特に「人の温かさ」に魅力を感じています。周りの方が本当に親切で、子どもたちが保育園や小学校に通いだしてから強く感じています。地域全体で子育てができていると思います。

Q：大洗で一番好きな癒しスポットはどこですか？

A：南中学校下の高台から見る大洗町は絶景です。あと、自宅窓から見ることのできる日の出です。

Q：町に対する要望等がありますか？

A：発展していく事も良いのですが、町の路地を入ると古い建物や「港町」という雰囲気のある町並みがたくさん残っているの、そういう景観をいつまでも残して欲しいと思います。



大洗町の歴史を見つめて安

江戸時代の歴史

5 守山藩と神山村・成田村

水戸藩主徳川頼房よしかみの四男松平頼元よるとの男子頼貞よしかたは、元禄十三年（一七〇一）、將軍から陸奥国田村郡、常陸国茨城・行方・鹿島郡にわたる領地を拝領した。守山藩二万石の領地の九割は、陸奥国田村郡が占めた。城はなく、陸奥領には守山陣屋が、常陸領には松川陣屋まつかわじんや（現大洗町松川）が置かれた。松川陣屋は、涸沼に突き出た台地の先端に設けられ、御殿・金蔵・神蔵ひんぞう・火薬庫などが置かれた（写真は完成直後の絵図）。

神山村の村高は六八六石余、成田村は一、一四石余であった。特に成田村は守山藩常陸領の村々のうちでは、トップクラスの村高であった。成田村松川と神山村は涸沼に接して漁業への依存度が高く、両村には舟庄屋ふねぢやが置かれ、漁業権をめぐる争いなどを処理した。守山藩常陸領の村々は、しばしば干ばつや洪水の被害にあったので、藩財政は苦しい時が多かった。そのため領内の有力農民の財力に頼らざるを得ず、成田村・神山村でも、藩への上納の見返りに、郷士の身分に取り立てられたり、苗字・上下着用・帯刀などを許可される農民がかなりいた。

文政・天保期（19世紀前半）、鹿島灘沖に異国船が多く現れると、水戸藩は磯浜村に海防陣屋を設置するなど防備体制を強化したが、鹿島灘一帯に領地のある守山藩も浜欠はまがけ（現大洗町夏海）に砲台場（三つの土塁）を設けるなど対策をとった。

（町文化財保護審議会委員 郡司文児）



元禄15年の松川陣屋絵図

（東北大学附属図書館所蔵『守山御日記』所収・『東北文化資料叢書第1集』より）

初日得て灯台の白際立ちぬ
諳んずる箴言二つ初日浴ぶ

大洗大使 さいたま 稲葉 峻山

時雨でも晴れても蕎麦を碾く水車
日の匂ひ杜の匂ひの落葉踏む

髭釜 川崎 京子

〔評〕冬の神社には詣でる人も少ない。静かな杜の中での落葉を踏む音、わずかに木洩れ日も射し込んでいる、その場に漂ふ気分、情趣を、日の匂ひ杜の匂ひと作者は感じ取ったのである。

神棚も変へて新たな年を待つ
こんなにも波平なる神無月

東光台 田中 勝枝

〔評〕外海である大洗は、いつも波立っており、穏やかに凪るのは少ない。この句で、「こんなにも」と誇張しているのを見ると、日頃見かけない不思議な情景であったように思えたのであろう。十一月は諸国の神々がことごとく出雲の国に旅せられるといふので神々は留守になると言つた。

焼猪を割つて話を切り出せり
猪苗代鳥影寒し五目そば

髭釜 小野瀬 きよ

〔評〕猪苗代は磐梯山の南麓にある。福島に旅したときの句、昼食時か、そばを喰べながら眺めていた湖の風景、自分の感じている寒さと湖上を翔んでゆく鳥影の寒さが重なって伝わってくる。

下校子をバス停に待つ十三夜
時雨るるや傘さしかける暮鳥の碑

金沢町 猿田 俊子

菊の前遠来の姉迎へけり
短日やはや金星の輝きて

角一 鈴木 さた

参道もすっかり湿り冬の雨
今日の雨止むや止まずや納め句座

髭釜 岸根 世司子

夫々に店頭飾る菊の鉢
束の間の薄日差したる磯時雨

新町 岸和田 和子

新聞紙包まれし鮭届けられ
年の瀬やふるさと便り丸ポスト

桜道 上野 君枝

朝ねぼつしちやいられないはつ日の出

磯小一 川崎 綸

青空に小さくうかぶぼくのたこ

磯小一 磯崎 拓己

ともだちといっぱいつくるゆきだるま

磯小一 かつめま 夏美

ふくしまでゆきがっせんをやりました

磯小一 佐藤 成

じいちゃんみんな集まるおもちつき

磯小三 川崎 理子

選者吟

国文祭終りし後の鮫鯨汁

紅葉狩ならん老なる一人旅

枯れ枯れてゆく葉に隠れたる冬芽

ほくとわたしのちびっこギャラリー

保育園生活の1ページ

恵泉保育園

食育

町内の魚屋さんに来ていただき、「かんぱち」の解体を見せてもらいました。

豪快なさばき方に園児達は、驚きの声をあげていました。



サッカー教室

年長児は、月2回スポーツ指導を受けています。一生懸命ボールを追いかけ、体を動かして楽しんでいます。

3月には試合を予定しております。



アクアワールド大洗の仲間たち

- シロワニ -

アクアワールド・大洗は平成21年1月17日現在、日本一多い45種類のサメを展示しています。そのなかでもひと際大きく迫力満点のサメであるシロワニを紹介します。

シロワニは当館サメの海 1水槽でオス1尾、メス2尾の展示しています。体は3m近くあり鋭い歯をむき出しにして泳いでいるところから怖そうに一見みえますが、性格のおとなしいサメとされています。残念ながら大洗周辺の海域には棲んでいませんが、日本では沖縄や小笠原などに生息しています。現在展示しているシロワニは9年半前に南アフリカからやってきたものです。

水槽内のシロワニを見ていると胸ビレ付近に傷の多いものがあることに気が付きます。けんかでもしているのかなと思われる方も多いと思いますが、これはけんかではありません。実は交尾をしようとオスがメスを噛んだための傷だったのです。昨年の12月には交尾も確認することができました。日本の水族館ではシロワニの繁殖例がまだありませんから、当館での繁殖が望まれるところです。



アクアワールド・大洗

<http://www.aquaworld-oarai.com> TEL 029-267-5151

健康づくりコーナー
お元気ですか? 保健師です



肺炎 高齢者はご注意

肺炎は年間の死者が10万人にも達し、日本人の死因の第4位にランクされる恐ろしい病気です。そして、肺炎による死者のうち、65歳以上の高齢者が9割以上を占めており、高齢者にとって肺炎は非常に危険な病気です。

肺炎は、風邪やインフルエンザをこじらせてなるものだけではありません。食道に入るはずの食べ物や唾液が誤って気管に入り、病原菌も一緒に肺に入ることでおこる『誤嚥(ごえん)性肺炎』というものもあります。誤嚥(ごえん)性肺炎は、脳血管障害がある人は特におこしやすいのですが、高齢者はちょっとしたきっかけでかかりやすく、回復にも時間がかかるので注意が必要です。

ふつう肺炎というと高熱がでるというイメージがあるかもしれませんが、高齢者の場合は、はっきりとした症状が出ないことがあります。「食欲がない」「元気がない」「全身がだるい」といった症状がある場合は要注意。高齢者ではこういう訴えが肺炎の初期にみられることも少なくないのです。

肺炎には予防が大切です。以下のことに注意して、寒い冬を元気に乗り切ってください!

肺炎を防ぐためのポイント

- 風邪をひかないようにする
 - ・バランスのとれた食事、適度な運動をして、免疫力を高めましょう
 - ・人ごみを避けましょう
 - ・うがい・手洗いを習慣づけましょう。マスクの着用も有効です。
 - ・予防接種を受けましょう(インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチン)
 - ・誤嚥(ごえん)に注意する
 - ・口の中は雑菌が繁殖しやすいので、常に清潔にしておくことが大切です。
 - ・食事中や食後1、2時間は体をおこしたままで(特に体の不自由な人)
 - ・食事はゆっくり急がずに。
 - ・歯の具合が悪い人は誤嚥(ごえん)の原因になることもあるので、適切な治療を受けましょう。
- 咳や熱がなくても様子がおかしければ早めに受診しましょう

